

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成19年12月20日(2007.12.20)

【公開番号】特開2006-140972(P2006-140972A)

【公開日】平成18年6月1日(2006.6.1)

【年通号数】公開・登録公報2006-021

【出願番号】特願2004-331113(P2004-331113)

【国際特許分類】

H 04 N 1/46 (2006.01)

G 06 T 1/00 (2006.01)

G 09 G 5/02 (2006.01)

H 04 N 1/60 (2006.01)

【F I】

H 04 N 1/46 Z

G 06 T 1/00 5 1 0

G 09 G 5/02 B

H 04 N 1/40 D

【手続補正書】

【提出日】平成19年11月6日(2007.11.6)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

対象色を色域内の色にマッピングする色処理方法であって、

色域を表す複数の多角形で構成される多面体を示す情報を取得し、

対象色が前記情報によって示される多面体の内にあるか外にあるかを判定し、

前記判定によって前記対象色が前記多面体の外にあると判定された場合は、前記多面体を構成する複数の多角形から、色空間において前記対象色に最も近い多角形を選択し、

前記対象色を前記選択した多角形上の色にマッピングすることを特徴とする色処理方法。

。

【請求項2】

さらに、前記色域はデバイスの色域であり、前記デバイスによって出力されたカラーチャートの測色値を取得し、前記測色値から前記複数の多角形で構成される多面体を示す情報を生成することを特徴とする請求項1に記載された色処理方法。

【請求項3】

前記対象色が前記多面体の外にあると判定した場合、前記色空間において、前記選択した多角形内における、前記対象色に対して最近点である色に前記対象色をマッピングすることを特徴とする請求項1または請求項2に記載された色処理方法。

【請求項4】

対象色を色域内の色にマッピングする色処理装置であって、

色域を表す複数の多角形で構成される多面体を示す情報を取得する取得手段と、

対象色が前記情報によって示される多面体の内にあるか外にあるかを判定する判定手段と、

前記判定によって前記対象色が前記多面体の外にあると判定された場合は、前記多面体を構成する複数の多角形から、色空間において前記対象色に最も近い多角形を選択する選

択手段と、

前記対象色を前記選択された多角形上の色にマッピングするマッピング手段とを有することを特徴とする色処理装置。

【請求項 5】

コンピュータを用いて、請求項1から請求項3の何れか一項に記載された色処理を実現することを特徴とするコンピュータプログラム。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、対象色を色域内の色にマッピングする色処理に関する。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

本発明は、対象色のマッピング先の点を短時間に探索することを目的とする。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0009

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0009】

本発明は、対象色を色域内の色にマッピングする際に、色域を表す複数の多角形で構成される多面体を示す情報を取得し、対象色が前記情報によって示される多面体の内にあるか外にあるかを判定し、前記判定によって前記対象色が前記多面体の外にあると判定された場合は、前記多面体を構成する複数の多角形から、色空間において前記対象色に最も近い多角形を選択し、前記対象色を前記選択した多角形上の色にマッピングすることを特徴とする。

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明によれば、対象色のマッピング先の点を短時間に探索することができる。